

甚小だよ！

明日咲くつぼみ



あま市立甚目寺小学校

平成 30 年度 第 5 号

平成30年 9月5日

授業再開

夏休みが終わり、授業が再開されました。夏休み中に大きな事故がなかったことに安心しております。「猛暑」という言葉がすっかり定着してしまい、「気温 30 度」という言葉にも驚かなくなっています。人間の順応力の高さを感じますが、別の見方をすれば、とても危険なことでもあります。9 月 3 日から授業が再開されました。暑い日もありますので、こまめに熱中症対策をしながら、教育活動に努めて参りたいと思います。



【9 月 3 日朝礼 甚小なかよし宣言】

クリーンクリーン活動ありがとうございました

夏休み中の 8 月 20 日の出校日に、全校児童と約 60 名の保護者・家族の方（事前登録数）でクリーンクリーン活動を行いました。暑さが心配されましたが、それほど暑くなく、作業を始めることができました。しかし、始まって 20 分くらい経過したところで予想のしなかったにわか雨になり、作業は打ち切りとなってしまいました。中途半端な状態で終わってしまうのは残念という思いから、雨が上がってからでも作業をしていただいた方も見えました。ご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

草を集めた袋（約 45 リットル入り）の数は 92。短い時間でしたが密度の濃い作業であったことがわかります。人の力の結集のすごさです。まさに「力のたし算」＝「協力」でした。

当たり前と思うことを迷わずさりげなく

今年も夏の全国高校野球大会が開催され、熱戦とともに多くのドラマが生まれました。その中で、印象に残った光景がありました。8 月 18 日に行われた大阪桐蔭高と浦和学院高の試合中、大阪桐蔭高の打者が打った強い打球が浦和学院高の投手の膝下に当たりました。高校野球で使用しているボールは「硬式球」という硬いボールで、当たり所や当たり方が悪いと重大なケガにつながります。そのボールが投手の膝付近に当たれば、投手は足に力が入らず投げられなくなってしまうかもしれません。打球が当たったとき、三塁ベースコーチに入っていた大阪桐蔭高の選手は、すぐに打球が当たった相手投手のもとにかけ寄り、持っていたコールドスプレーで打球が当たったところを冷やしました。ベースコーチは、自分のチームの選手にボールが当たったり体を痛めたりしたときのためにコールドスプレーをポケットに入れてあります。大阪桐蔭高のベースコーチの選手は、試合をしている相手校の選手に対して応急手当を行ったのです。この動きに、浦和学院高の投手やベンチにいる選手・監督は、帽子を取ってお礼の態度を示しました。また、観客からは大きな拍手が起こりました。暑い日の試合でしたが、とてもさわやか気持ちにさせてくれた光景でした。

目の前にいる人が困っていると思ったら、迷わずに自分ができるところを、その勇気が拍手を呼んだと思います。（9 月 3 日朝礼講話）



お知らせ

- ・育児休業であった松田真理子養護教諭が、8 月下旬より一時復帰しております。
- ・学生ボランティアが 2 名来ています。それぞれ月曜日と水曜日に来校、教育活動の手伝いをします。